

# T&D保険グループ

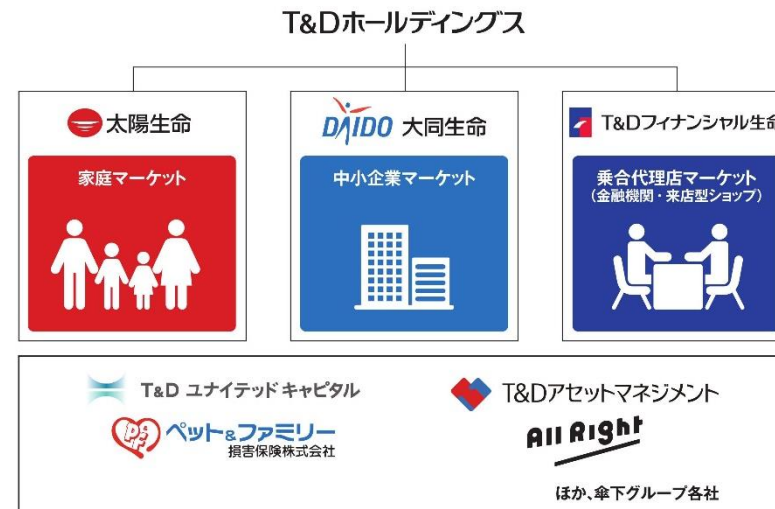
## 2023年3月期第3四半期決算のお知らせ

2023年2月14日

株式会社 T&Dホールディングス

# 目次・グループストラクチャー

[2023年3月期第3四半期決算のサマリー]	P. 2
1. T&D保険グループ決算の概況	P. 4
2. 国内生命保険事業	P. 7
3. 事業ポートフォリオの多様化を担う事業	P. 13
4. 通期業績予想・株主還元	P. 15
【参考】新型コロナウイルス感染症関連 保険金等の支払状況	P. 16



T&D保険グループのT&Dホールディングス傘下には、太陽生命、大同生命、T&Dフィナンシャル生命の中核生保3社のほか、グループの事業ポートフォリオの多様化を担うT&Dユナイテッドキャピタル（クローズドブック事業等）や T&Dアセットマネジメント（アセットマネジメント事業）、ペット&ファミリー損害保険（損害保険事業）、All Right（ヘルスケア・健康領域におけるサービス提供事業等）等のグループ会社があります。

<本資料における計数の定義>

連結	:	T & Dホールディングス（連結）
3社合算	:	生命保険会社3社（太陽生命、大同生命、T & Dフィナンシャル生命）の単純合算

# [2023年3月期第3四半期決算のサマリー]

## ■ 1. T&D保険グループ決算の概況<sup>※1</sup>

詳細はP4~6

	2022/3期 3Q累計	2023/3期 3Q累計	前年同期比
経常収益	16,861 億円	21,207 億円	+25.8 %
グループ修正利益 <sup>※2</sup>	848 億円	843 億円	△ 0.5 %
親会社株主に帰属する 四半期純利益 (△は純損失)	553 億円	△ 1,675 億円	- %

- 「経常収益」は、国内生命保険事業の契約業績好調により、前年同期から増加。
- 「グループ修正利益」は、T & Dフィナンシャル生命およびT & Dユナイテッドキャピタルの利益が増加したもののコロナ関連の支払増加および為替ヘッジコストの増加等により前年同期と同水準。
- 「親会社株主に帰属する四半期純利益」は、海外再保険関連会社(以下、フォーティテュード社)における、米国金利上昇に伴う会計上の一時的な評価性損失等により前年同期から減少。

## ■ 2. 国内生命保険事業 (3社合算)

詳細はP7~12

	2022/3期 3Q累計	2023/3期 3Q累計	前年同期比
新契約年換算保険料	938 億円	1,181 億円	+25.9 %
	2022/3末	2022/12末	前期末比
保有契約年換算保険料	15,431 億円	15,605 億円	+1.1 %
	2022/3期 3Q累計	2023/3期 3Q累計	前年同期比
保険料等収入	13,264 億円	16,265 億円	+22.6 %
	2022/3期 3Q累計	2023/3期 3Q累計	前年同期比
基礎利益 <sup>※3</sup>	1,278 億円	697 億円	△ 45.4 %
	2022/3期 3Q累計	2023/3期 3Q累計	前年同期比
修正利益 <sup>※2</sup>	718 億円	682 億円	△ 5.1 %
	2022/3期 3Q累計	2023/3期 3Q累計	前年同期差
新契約価値 <sup>※4</sup>	1,254 億円	1,526 億円	+271 億円

- 主力商品の販売好調や対面・非対面を融合した営業活動の実践により契約業績は堅調。「新契約年換算保険料」および「保険料等収入」とも、前年同期から増加。
- 「基礎利益」は、コロナ関連の支払増加および為替ヘッジコストの増加等により前年同期から減少。
- 「新契約価値」は、新契約の増加および金利上昇に伴い前年同期から増加。

※1 2022/3期3Q累計は2021年10月1日に公表したフォーティテュード社の組織再編に伴う会計処理の遡及適用反映後の数値。

※2 グループ修正利益とは、親会社株主に帰属する当期(四半期)純利益に対し、市場の変動により会計上生じる一時的な評価性損益等を調整したグループ経営実態を表す指標のひとつ。

※3 2023/3期3Q累計は基礎利益の改正を反映し算出しています。(以下、新基準。)  
2022/3期3Q累計は新基準で再計算しています。改正前基準による2022/3期3Q累計の基礎利益は1,376億円です。

※4 新契約価値とは、当期中に販売した新契約(転換契約を含む)の価値を表したものです。

## [2023年3月期第3四半期決算のサマリー]

## ■ 3. 事業ポートフォリオの多様化を担う事業

(T&amp;Dユナイテッドキャピタル(連結)・T&amp;Dアセットマネジメント・ペット&amp;ファミリー損害保険合算)

詳細はP13~14

	2022/3期 3Q累計	2023/3期 3Q累計
修正利益*	126 億円	165 億円
親会社株主に帰属する 四半期純利益(△は純損失)	△ 169 億円	△ 2,353 億円

- 「修正利益」は、T & Dユナイテッドキャピタルの主要投資先であるフォーティテュード社の業績が好調だったことにより前年同期から増加。
- 「親会社株主に帰属する四半期純利益」は、フォーティテュード社の米国金利上昇に伴う会計上の一時的な評価性損失等により前年同期から減少。

## ■ 4. 通期業績予想・株主還元

2022年11月14日公表内容から変更なし。

詳細はP15

	2022/3期 実績	2023/3期 予想
グループ修正利益*	392 億円	900 億円
親会社株主に帰属する 当期純利益(△は純損失)	141 億円	△ 1,600 億円

- 2023年3月期の通期業績予想および1株当たり配当金予想は修正なし。「1株当たりの年間配当金」は2022年3月期より6.0円増配の62.0円、8期連続の増配予定。

2022年5月13日公表内容から変更なし。

	2022/3期 実績	2023/3期 予想
1株当たり年間配当金	56.0 円	62.0 円
(うち中間配当)	28.0 円	31.0 円

※ グループ修正利益とは、親会社株主に帰属する当期(四半期)純利益に対し、市場の変動により会計上生じる一時的な評価性損益等を調整したグループ経営実態を表す指標のひとつ。

# 1. T&D保険グループ決算の概況（連結損益）

## ■ 連結損益

(単位：億円)

	2022/3期 3Q累計	2023/3期 3Q累計	前年同期差	前年同期比
<b>経常収益</b>	16,861	21,207	+4,345	+25.8%
うち保険料等収入	13,326	16,339	+3,012	+22.6%
うち資産運用収益	2,917	3,719	+801	+27.5%
うち利息及び配当金等収入	2,390	2,423	+33	+1.4%
うちその他経常収益	617	1,148	+531	+86.2%
<b>経常費用</b>	15,779	22,416	+6,636	+42.1%
うち保険金等支払金	11,065	16,271	+5,206	+47.0%
うち責任準備金等繰入額	1,891	86	△ 1,804	△ 95.4%
うち資産運用費用	447	1,231	+784	175.2%
うち持分法による投資損失	166	2,384	+2,218	-
<b>経常利益（△は損失）</b>	1,081	△ 1,209	△ 2,291	-
特別損益	△ 70	△ 54	+15	-
契約者配当準備金繰入額	174	171	△ 3	△ 1.8%
税金等調整前四半期純利益	837	△ 1,436	△ 2,273	-
法人税等合計	282	236	△ 45	△ 16.2%
<b>親会社株主に帰属する 四半期純利益（△は純損失）</b>	553	△ 1,675	△ 2,229	-
<b>グループ修正利益</b>	848	843	△ 4	△ 0.5%

- 経常収益は前年同期より増加したものの、コロナ関連の支払増加等により経常費用が増加したことで、経常利益は前年同期より減少。詳細は以下のとおり。

### <主な増減要因>

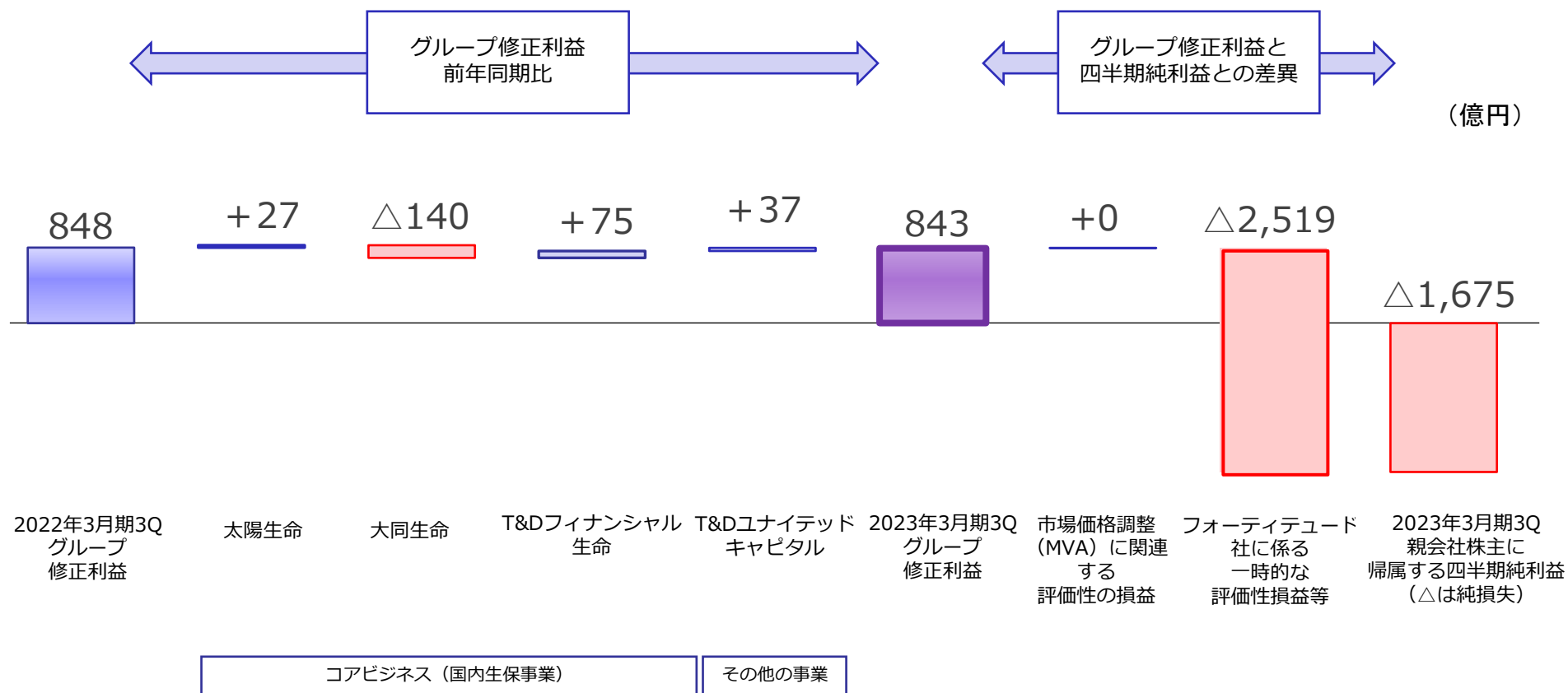
- ① 新契約の増加等
- ②③ コロナ関連の支払増加やT & Dフィナンシャル生命における再保険の影響および円安による外貨連動型保険の解約増加等
- ④ 為替ヘッジコストの増加等
- ⑤ フォーティテュード社の会計上の一時的な評価性損失等

親会社株主に帰属する当期（四半期）純利益に対し、市場の変動により会計上生じる一時的な評価性損益等を調整したグループ経営実態を表す指標のひとつ。

\* 2022/3期3Q累計は2021年10月1日に公表したフォーティテュード社の組織再編に伴う会計処理の遡及適用反映後の数値。

# 1. T&D保険グループ決算の概況（グループ修正利益）

## ■ グループ修正利益の増減内訳と親会社株主に帰属する四半期純利益との差異



\* グループ修正利益とは、親会社株主に帰属する当期（四半期）純利益に対し、市場の変動により会計上生じる一時的な評価性損益等を調整したグループ経営実態を表す指標のひとつ。

# 1. T&D保険グループ決算の概況 (MCEV)

## ■ MCEV

(単位：億円)

	2022/12末	前期末差
T&D保険グループ全体 (Group MCEV)	34,096	△ 988
生命保険事業のMCEV	35,160	+1,014
うち太陽生命	10,627	△ 717
うち大同生命	23,093	+1,612
うちT&Dフィナンシャル生命	1,242	+128
生命保険以外の事業に係る純資産	△ 1,063	△ 2,002

\* 生命保険会社の企業価値を評価する指標の一つ「EV (エンベディッド・バリュー)」は、「貸借対照表の純資産に、価格変動準備金・危険準備金等の内部留保、時価評価されていない資産の含み損益等を加えた純資産価値」と「現時点で保有している契約から将来見込まれる利益の現在価値」を合計したものです。

\* 「生命保険以外の事業に係る純資産」の前期末差 (△2,002億円) には、フォーティテュード社に係る会計上の一時的な評価性損失等 (△2,519億円) を含んでいます。

## 2. 国内生命保険事業（新契約・保有契約・新契約価値）

### ■ 新契約の状況

(単位：億円)

	3社合算		太陽生命		大同生命		T&Dフィナンシャル生命	
	2023/3期 3Q累計	前年同期差 (前年同期比)	2023/3期 3Q累計	前年同期差 (前年同期比)	2023/3期 3Q累計	前年同期差 (前年同期比)	2023/3期 3Q累計	前年同期差 (前年同期比)
新契約年換算保険料	1,181	+243 (+25.9%)	259	+6 (+2.4%)	524	+40 (+8.4%)	397	+196 (+97.8%)
うち第三分野	304	+32 (+11.9%)	162	+19 (+14.0%)	140	+15 (+12.4%)	2	△ 2 (△ 54.6%)

\* 新契約には、転換による純増加を含んでいます。

### ■ 保有契約の状況

(単位：億円)

	3社合算		太陽生命		大同生命		T&Dフィナンシャル生命	
	2022/12末	前期末差 (前期末比)	2022/12末	前期末差 (前期末比)	2022/12末	前期末差 (前期末比)	2022/12末	前期末差 (前期末比)
保有契約年換算保険料	15,605	+174 (+1.1%)	5,737	△ 62 (△ 1.1%)	8,040	+51 (+0.6%)	1,827	+185 (+11.3%)
うち第三分野	2,867	+91 (+3.3%)	1,331	+53 (+4.2%)	1,500	+36 (+2.5%)	35	+0 (+2.3%)

### ■ 新契約価値

(単位：億円)

	3社合算		太陽生命		大同生命		T&Dフィナンシャル生命	
	2023/3期 3Q累計	前年同期差 (前年同期比)	2023/3期 3Q累計	前年同期差 (前年同期比)	2023/3期 3Q累計	前年同期差 (前年同期比)	2023/3期 3Q累計	前年同期差 (前年同期比)
新契約価値	1,526	+271 (+21.7%)	430	+40 (+10.4%)	1,023	+186 (+22.3%)	72	+44 (+159.2%)

\* 新契約価値は、当期中に販売した新契約（転換契約を含む）の価値を表したものです。



## 2. 国内生命保険事業（損益関係）

（単位：億円）

	3 社合算			太陽生命			大同生命			T&Dフィナンシャル生命		
	2023/3期 3Q累計	前年同期差	前年同期比	2023/3期 3Q累計	前年同期差	前年同期比	2023/3期 3Q累計	前年同期差	前年同期比	2023/3期 3Q累計	前年同期差	前年同期比
<b>経常収益</b>	<b>22,253</b>	+5,036	+29.3%	<b>7,420</b>	+900	+13.8%	<b>7,929</b>	+305	+4.0%	<b>6,903</b>	+3,829	+124.6%
うち保険料等収入	16,265	+3,001	+22.6%	4,506	△ 136	△ 2.9%	5,981	+26	+0.4%	5,776	+3,111	+116.8%
うち資産運用収益	3,730	+796	+27.2%	1,641	+456	+38.6%	1,711	+332	+24.1%	378	+7	+2.0%
うち利息及び配当金等収入	2,437	+33	+1.4%	1,223	+116	+10.6%	1,167	△ 79	△ 6.4%	46	△ 4	△ 8.8%
うちその他経常収益	2,256	+1,238	+121.5%	1,272	+580	+83.9%	236	△ 53	△ 18.4%	748	+710	-
経常費用	21,079	+5,120	+32.1%	7,102	+885	+14.3%	7,185	+504	+7.5%	6,792	+3,730	+121.8%
うち保険金等支払金	16,231	+5,203	+47.2%	5,675	+457	+8.8%	4,144	+258	+6.7%	6,411	+4,487	+233.1%
うち責任準備金等繰入額	1,400	△ 1,092	△ 43.8%	67	+67	-	1,313	△ 226	△ 14.7%	19	△ 933	△ 97.9%
うち資産運用費用	1,238	+790	+176.5%	504	+287	+132.5%	654	+426	+187.6%	79	+75	-
<b>経常利益</b>	<b>1,173</b>	△ 84	△ 6.7%	<b>318</b>	+15	+5.0%	<b>744</b>	△ 198	△ 21.1%	<b>111</b>	+99	+860.7%
特別損益	△ 54	+15	-	△ 14	+13	-	△ 34	+0	-	△ 5	+1	-
契約者配当準備金繰入額	171	△ 3	△ 1.8%	87	△ 5	△ 5.7%	84	+2	+2.6%	0	+0	-
税引前四半期純利益	947	△ 65	△ 6.5%	216	+33	+18.4%	625	△ 200	△ 24.2%	105	+100	-
法人税等合計	265	△ 26	△ 9.2%	57	+6	+12.1%	177	△ 59	△ 25.3%	29	+26	+859.0%
<b>四半期純利益</b>	<b>682</b>	△ 38	△ 5.4%	<b>158</b>	+27	+20.8%	<b>448</b>	△ 140	△ 23.8%	<b>75</b>	+74	-
<b>修正利益</b>	<b>682</b>	△ 36	△ 5.1%	<b>158</b>	+27	+20.8%	<b>448</b>	△ 140	△ 23.8%	<b>75</b>	+75	-
<b>基礎利益</b>	<b>697</b>	△ 580	△ 45.4%	<b>123</b>	△ 205	△ 62.4%	<b>547</b>	△ 430	△ 44.0%	<b>26</b>	+55	-

\* T&Dフィナンシャル生命の修正利益は、四半期純利益から市場価格調整（MVA）に関連する評価性の損益を調整して算出しています。

\* 基礎利益は新基準で算出しています。前年同期差、前年同期比は、2022/3期3Q累計を新基準で再計算し算出しています。

\* 修正利益とは、親会社株主に帰属する当期（四半期）純利益に対し、市場の変動により会計上生じる一時的な評価性損益等を調整した経営実態を表す指標のひとつ。

## 2. 国内生命保険事業（健全性指標等）

### ■ ソルベンシー・マージン比率

	T&Dホールディングス連結		太陽生命		大同生命		T&Dフィナンシャル生命	
	2022/12末	前期末差	2022/12末	前期末差	2022/12末	前期末差	2022/12末	前期末差
ソルベンシー・マージン比率	849.3%	177.0pt低下	505.5%	228.7pt低下	1,107.9%	95.9pt低下	563.4%	186.1pt低下

### ■ 実質純資産

(単位：億円)

	T&Dホールディングス連結		太陽生命		大同生命		T&Dフィナンシャル生命	
	2022/12末	前期末差	2022/12末	前期末差	2022/12末	前期末差	2022/12末	前期末差
実質純資産	14,199	△ 12,475	4,248	△ 4,272	10,567	△ 5,093	※ △ 15	△ 1,112

※ 保険会社向けの総合的な監督指針Ⅱ-2-2-6に基づき、満期保有目的の債券及び責任準備金対応債券の含み損益△606億円を控除した場合の実質純資産は、590億円であります。  
また、同監督指針Ⅱ-2-2-6の記載に基づく保険金等の支払に備えた流動性資産を確保しています。

### ■ 有価証券等の差損益（一般勘定）

(単位：億円)

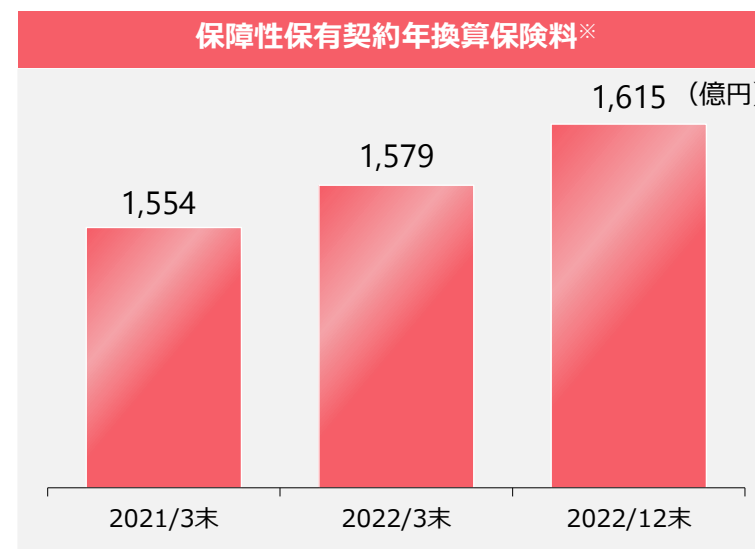
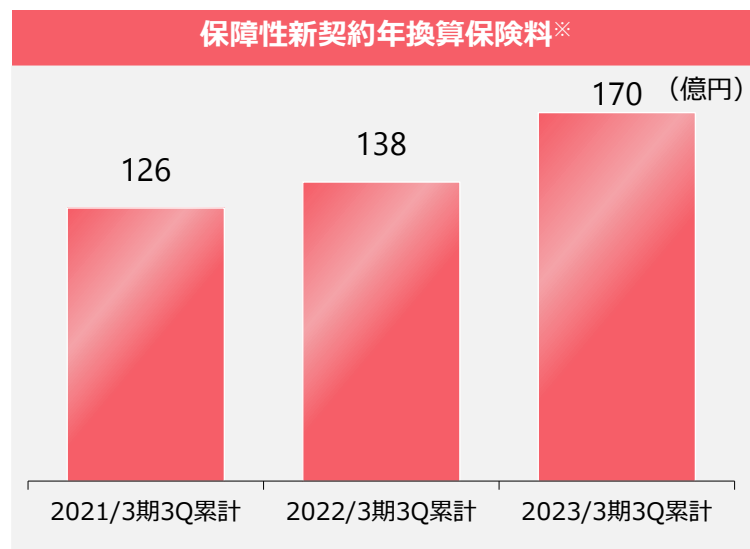
	3社合算		太陽生命		大同生命		T&Dフィナンシャル生命	
	2022/12末	前期末差	2022/12末	前期末差	2022/12末	前期末差	2022/12末	前期末差
有価証券の差損益	△ 2,217	△ 10,818	△ 158	△ 4,367	△ 1,107	△ 5,312	△ 951	△ 1,138
うち公社債	△ 2,727	△ 5,997	△ 515	△ 2,273	△ 2,406	△ 3,495	195	△ 228
うち株式	2,542	△ 233	1,051	△ 54	1,490	△ 178	-	-
うち外国証券	△ 1,276	△ 3,402	△ 822	△ 1,895	△ 449	△ 1,502	△ 4	△ 4
うち金銭の信託	△ 1,123	△ 896	-	-	-	-	△ 1,123	△ 896
土地等の差損益	1,444	+10	633	△ 0	811	+11	-	-

\* 有価証券の差損益は、有価証券のうち市場価格のない株式等および組合出資金等は除いています。

\* 土地等の差損益は、原則として鑑定評価額（重要性の低い物件等については公示価格等）をもとに算出しています。

## 【参考】太陽生命の主要ポイントと状況

- 保障性新契約年換算保険料※は、前年同期から23.3%の増加。



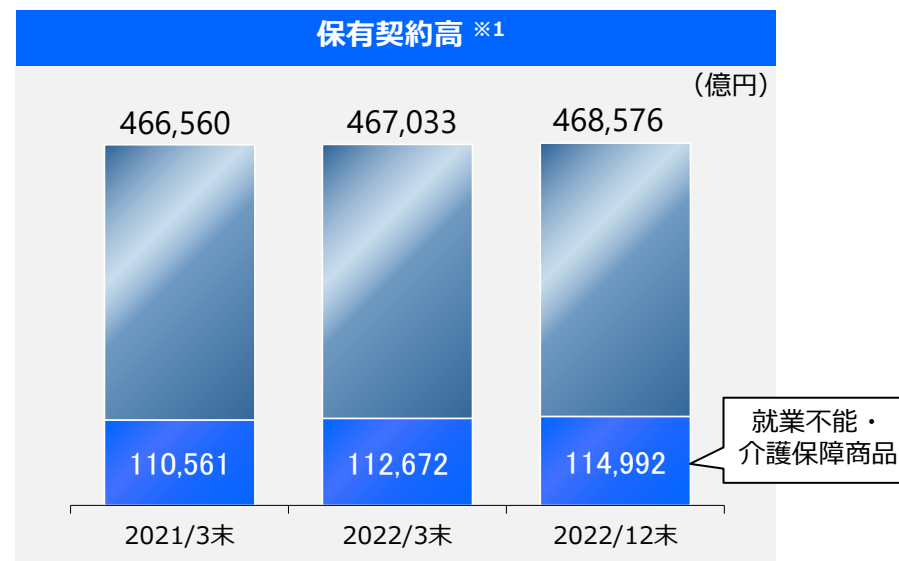
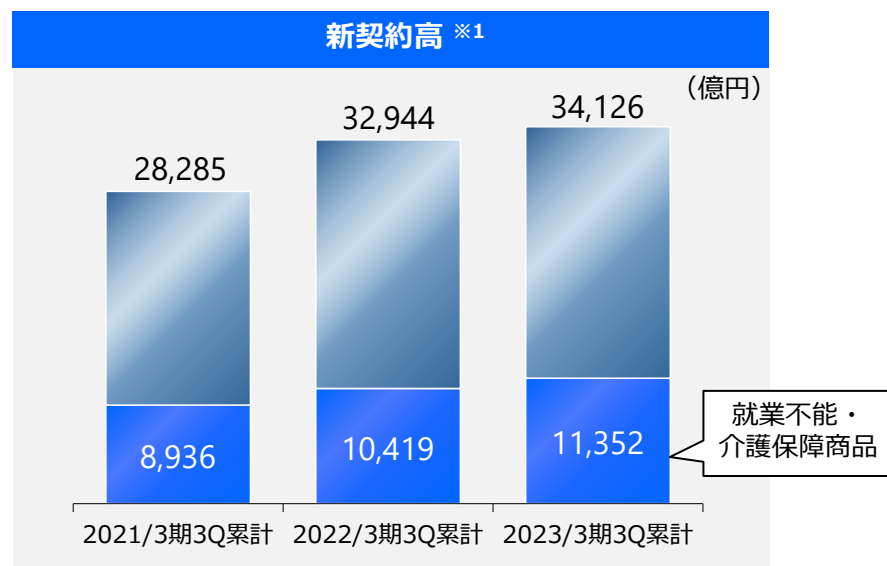
- 保障性新契約年換算保険料※は、インフォーマーシャルやインターネット広告等を経由した情報を活用し、対面・非対面を融合させた「ハイブリッド型営業」の推進や、2022年5月に発売した「告知緩和型死亡保険」・「選択緩和型先進医療保険」等の販売が好調であったことにより、前年同期から23.3%の増加。
- 保障性保有契約年換算保険料※についても、第三分野商品の販売好調により前年度末から2.2%増加し、上場以来最高だった前年度末からさらに伸展。

- ・新たな営業スタイル「ハイブリッド型営業」の確立により、顧客とのアプローチ機会が拡大し新規顧客が増加。
- ・お客様のさまざまなニーズに対応するため、2022年5月に「告知緩和型死亡保険」・「選択緩和型先進医療保険」・「事故割増死亡保険」を販売開始し好調に推移。また、「ひまわり認知症予防保険」等の認知症関連商品の合計販売件数が87万件を超え、好調な販売が継続。

※ 保障性年換算保険料（太陽生命独自の指標）とは、年換算保険料のうち主に貯蓄系商品を除いた保障部分の合計。同指標はE Vの伸展に大きく寄与するため、太陽生命が契約業績の中で重視する指標。

## 【参考】大同生命の主要ポイントと状況

- 第2四半期から引き続き、新契約高は堅調に推移し、前年同期から増加。保有契約高は前年度末から純増。



- 対面・非対面を組み合わせた丁寧なコンサルティング営業の実践等により、お客さまの保障ニーズに対する確にお応えしたことで、主力である定期保険、特にオーダーメイド型商品（αシリーズ）の販売が堅調に推移。
- 「就業不能・介護保障商品」の新契約高も前年同期から増加。
- 新契約高が堅調に推移したことにより、保有契約高は前年度末から純増。

・中小企業の健康経営®※2の総合支援ツールとして提供している「KENCO SUPPORT PROGRAM」(KSP)に「オンライン運動レッスン」機能を搭載(2022年10月)。また、本年2月より新たに会社の健康状態を可視化した「健康経営レポート」や、「KSPオンライン診療」などを提供する「健康経営定期便活動」を開始。  
(KSPは既に3万社を超える中小企業が利用)

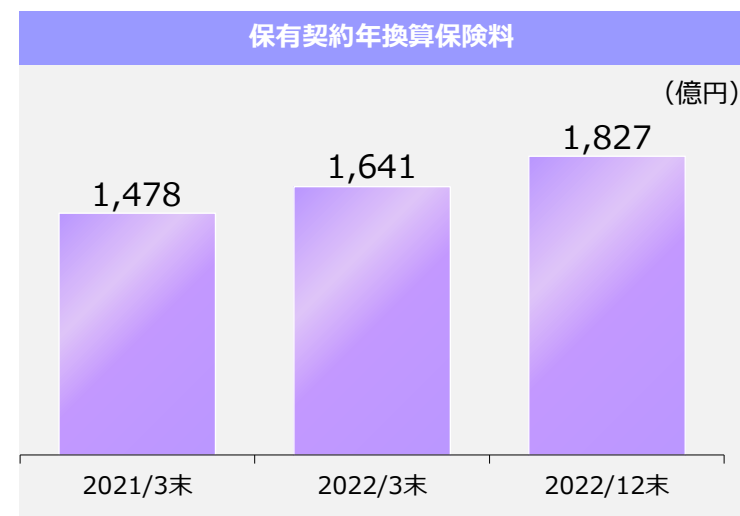
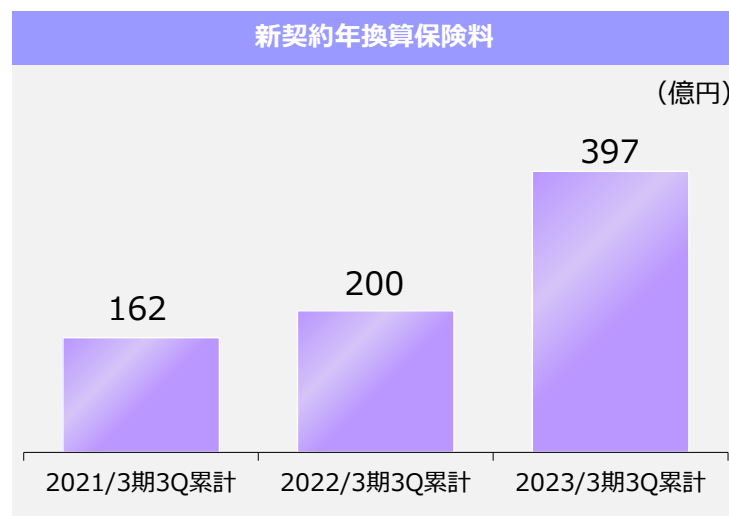
・今後もKSPをはじめとする中小企業のお客さまの課題解決に役立つ様々なソリューションの提供を通じ、「中小企業に信頼されるパートナー」を目指す。

※1 : 当ページ記載の「新契約高」「保有契約高」には、「Jタイプ」の重大疾病保険金額、「Tタイプ」の就業障がい保険金額、「介護リリーフα」等の介護保険金額を含みます。

※2 : 「健康経営」は、NPO法人健康経営研究会の登録商標です。

## 【参考】 T &amp; D フィナンシャル生命の主要ポイントと状況

- 新契約年換算保険料は前年同期から約2倍。保有契約年換算保険料は前年度末から増加。



- 新契約年換算保険料は397億円、前年同期から約2倍。内外金利上昇による商品の魅力度向上等の影響により、一時払終身保険「生涯プレミアムワールド5」および「生涯プレミアムジャパン5」の販売が堅調に推移。また、変額保険「ハイブリッドシリーズ」も商品浸透および代理店数が拡大したことにより、着実に販売が拡大。
- 保有契約年換算保険料は1,827億円、前年度末から11.3%の増加。

人生100年時代の自助努力による資産形成をサポートする「ハイブリッドシリーズ」は、「投資信託」と「生命保険」を融合した変額保険。2021年6月販売開始の「ハイブリッド アセット ライフ」、2021年12月販売開始の「ハイブリッド あんしん ライフ」に加え、2022年4月より「ハイブリッド つみたて ライフ」を販売開始。シリーズ3商品で資産形成層から高齢層まで幅広くカバーし、お客さまの保障ニーズやリスク許容度に応じた設計も可能な商品を提供。

### 3. 事業ポートフォリオの多様化を担う事業 (クローズドブック事業等)

#### ■ T & Dユナイテッドキャピタル（連結）の状況

- 会計上の一時的な評価性損益等を調整した修正利益は、フォーティテュード社における運用収支が好調であったこと等により、163億円と前年同期から増加。四半期純利益は、フォーティテュード社の米国金利上昇に伴う会計上の一時的な評価性損失等を計上したことによりマイナスとなった。

(単位：億円)

	2022/3期 3Q累計	2023/3期 3Q 累計	前年同期差
経常収益	0	4	+3
経常費用	184	2,390	+2,206
うち持分法による投資損失	166	2,371	+2,204
経常利益（△は損失）	△ 183	△ 2,386	△ 2,202
四半期純利益（△は純損失）	△ 170	△ 2,356	△ 2,185
修正利益	126	163	+37

#### 【ご参考】

- ・フォーティテュード社の第4四半期連結会計期間（2022年10月1日～2022年12月31日）において、主に為替相場の変動に伴い会計上の一時的な評価性利益等を計上する見込み。
- ・当社の第4四半期連結会計期間（2023年1月1日～2023年3月31日）において、この評価性利益等を含めフォーティテュード社にかかる持分法による投資利益として250億円程度を計上する見込み。
- ・なお、一時的な評価性損益等を調整した修正利益は、第4四半期連結累計期間(2022年4月1日～2023年3月31日)で120億円程度を計上する見込み。

\* フォーティテュード社の決算日は12月末であり、同社の第4四半期連結会計期間（2022年10月1日～2022年12月31日）の損益は、当社第4四半期決算に反映されます。

- \* 2022/3期3Q累計は2021年10月1日に公表したフォーティテュード社の組織再編に伴う会計処理の遡及適用反映後の数値。
- \* 修正利益とは、親会社株主に帰属する当期（四半期）純利益に対し、市場の変動により会計上生じる一時的な評価性損益等を調整した経営実態を表す指標のひとつ。

### 3. 事業ポートフォリオの多様化を担う事業 (アセットマネジメント事業・損害保険事業)

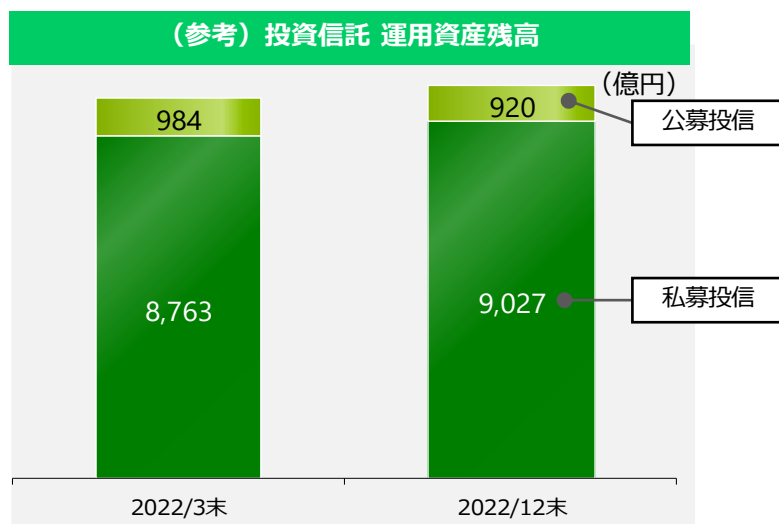
#### ■ T & Dアセットマネジメントの状況

- 主力の投資信託については資金流入超となったものの、証券市場の下落による時価減少等により投資一任契約・助言契約を含めた運用資産残高全体が減少し、営業収益※は前年同期から減少。経常利益・四半期純利益はマイナスとなった。

(単位：百万円)

	2023/3期 3Q累計	前年同期差
営業収益 (実質ベース)※	2,027	△ 124
経常利益 (△は損失)	△ 53	△ 184
四半期純利益 (△は純損失)	△ 44	△ 137

※販売会社や運用委託先への支払いを控除した実質的な営業収入。

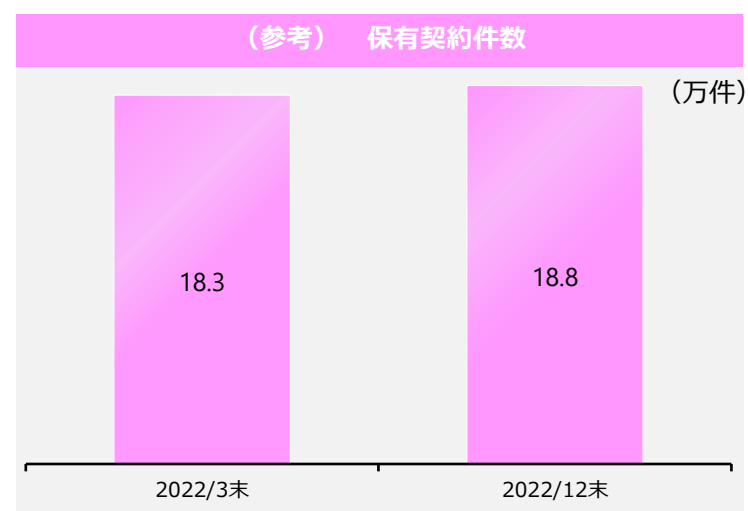


#### ■ ペット&ファミリー損害保険の状況

- 保有契約件数の増加により、経常収益は順調に伸展。四半期純利益は前年同期から増加。

(単位：百万円)

	2023/3期 3Q累計	前年同期差
経常収益	7,325	+1,085
経常利益	382	+398
四半期純利益	273	+288



## 4. 通期業績予想・株主還元

### ■ 2023年3月期 通期業績予想 ※2022年11月14日公表内容から変更なし。

#### 【T&D保険グループ連結】

(単位：億円)

	2022/3期 (実績)	2023/3期 (予想)
経常収益	26,143	27,800
経常利益 (△は損失)	570	△ 1,000
親会社株主に帰属する当期純利益 (△は純損失)	141	△ 1,600
グループ修正利益	392	900

\* グループ修正利益とは、親会社株主に帰属する当期（四半期）純利益に対し、市場の変動により会計上生じる一時的な評価性損益等を調整したグループ経営実態を表す指標のひとつ。

#### 【生保3社】

(単位：億円)

	太陽生命		大同生命		T&Dフィナンシャル生命	
	2022/3期 (実績)	2023/3期 (予想)	2022/3期 (実績)	2023/3期 (予想)	2022/3期 (実績)	2023/3期 (予想)
経常収益	14,398	9,200	10,326	10,700	4,853	7,500
経常利益 (△は損失)	△ 866	400	1,227	880	56	60
当期純利益 (△は純損失)	△ 741	180	762	510	31	30
保険料等収入	5,981	6,100	8,080	8,200	3,671	6,500

### ■ 株主還元 ※2022年5月13日公表内容から変更なし。

	2022/3期 実績	2023/3期 予想
1株当たり年間配当金	56.0円	62.0円
（うち中間配当）	28.0円	31.0円

※ 実際の業績は今後様々な要因によって、上記業績予想と大きく異なることがあります。



## 【参考】新型コロナウイルス感染症関連 保険金等の支払状況

### ■ 新型コロナウイルス感染症関連 保険金等の支払状況 (3社合算)

(単位：件、億円)

	2021/3期累計		2022/3期累計		2023/3期 3Q累計	
	件数	金額	件数	金額	件数	金額
死亡保険金	29,037	1,602	30,386	1,649	23,241	1,342
うち新型コロナウイルス感染症関連	209	15	548	47	434	27
入院給付金	276,312	208	319,232	233	594,854	482
うち新型コロナウイルス感染症関連	3,725	3	28,129	35	225,224	326
うちみなし入院 (率) ※金額ベース	約60%		約90%		約99%	

\* みなし入院のお支払対象は、9月26日以降、「重症化リスクが高い」とされる以下の方々に限定。

・ 65歳以上の方 ・ 入院を要する方 ・ 重症化リスクがあり、新型コロナ治療薬の投与または新型コロナ罹患により酸素投与が必要な方 ・ 妊婦

\* 保険契約に関する取扱条件等については、各社のホームページをご覧ください。

さあ、保険の新次元へ。

**T&D** 保険グループ

【お問合せ先】

株式会社 T & D ホールディングス	広報課 加藤	TEL 03-3272-6115
太陽生命保険株式会社	広報課 貴志	TEL 03-3272-6406
大同生命保険株式会社	広報課 斎藤	TEL 03-3272-6206
T & D フィナンシャル生命保険株式会社	広報課 伴	TEL 03-6745-6808